



令和4年度 宿利原小学校だより

宿っ子

12月号



学校のホームページは上のQRコードからお入りください



自分との「たたかい」

校長 有留 盛昭

師走恒例の「今年の漢字」が先日発表されました。2022年は、「戦」だそうです。昨年の「金」と比べると、なんとも物騒な感じがします。やはり、ウクライナで起きている悲惨な戦いが、世の中に大きく暗い影を落としていることが一因だと思います。

「戦う」という言葉を辞典で調べると右のような4つの説明がありました。①は、まさに悲しい戦争のことです。

アルゼンチンの優勝で幕を閉じたサッカーワールドカップ。ベスト8まで、あと一歩だった日本チーム。日本のサッカーが世界と同じレベルまで上がってきたことを証明する素晴らしい「戦い」を見せてくれました。サッカーを観戦しながら多くの人々が湧き上がる中で、うれしいニュースも耳にしました。開催国カタールと交流が途絶えていたUAE(アラブ首長国連邦)やエジプト、サウジアラビアの首長・大統領・皇太子などがカタールに入国しサッカー観戦したというものです。また、現在も交流のないイスラエルの人々についてもカタールに入国して、サッカー観戦しても良いという許可が出されました。サッカーというスポーツで世界の平和が一步前に進んだように思えます。競技としての「戦い」、素晴らしいです。

「たたかう」という言葉は、一説では「たたきあう」という言葉が変化してできたものとも言われています。叩き合うと言えば、ボクシング世界バンタム級で4団体王座統一を成し遂げたプロボクサー井上尚弥選手の試合は、圧巻でした。全階級では9人目、バンタム級では史上初という統一王者の誕生は、まさに壮絶な戦いから生まれました。井上選手は、「まだまだ成長できる。いまがピークではない。」と次への挑戦を語る場所は、相手と戦うために、常に自分と戦っているのだと思いました。

今年、学校でもたくさんの「戦い」が繰り広げられました。持久走大会で自分の記録を更新するために「戦い」ました。「テストで良い点数がとりたい」「良い作品を作りたい」「大きい声で発表したい」学び成長することは、常に自分との「戦い」です。今の自分と戦って新しい自分に変身(進化)するのが成長です。辞典では「④負けまいとして努力する」の例文に「寒さと戦う」とありました。冬の朝に自分で身支度をし、時間通りに登校することも成長に必要な自分との戦いなのですね。

さて、今年も宿利原小学校では8名の子供たちが、それぞれに自分と戦い、大きな成長を遂げてきました。これもたくさんの皆様が支えてくださった結果だと思います。今年1年間、保護者の方々や地域の皆様方には、本校教育活動に対しまして大きな御理解と御支援をいただきました。心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。2023年、どうぞよい年をお迎えください。

戦う(たたかう)

- ①武力で争う。戦争する。
- ②わざを比べて優劣を競う。試合する。勝負する。
- ③互いに相争う。
- ④負けまいとして努力する。

【広辞林より】

